

平成26年3月八戸市教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 平成26年3月26日(水) 午後1時30分
- 2 場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室
- 3 委員氏名
- | | |
|----------|---------|
| 委員長 | 武 輪 節 子 |
| 委員長職務代行者 | 築 瀬 眞知雄 |
| 委員 | 岡 本 潤 子 |
| 委員 | 大 庭 文 武 |
| 教育長 | 伊 藤 博 章 |
- 4 職員氏名
- | | |
|--------------|--------------|
| 教育部長 | 佐 藤 浩 志 (欠席) |
| 是川縄文館長 | 小 林 和 彦 |
| 教育部次長兼教育総務課長 | 澤 田 多嘉男 |
| 教育部次長 | 嶋 脇 郁 夫 |
| 図書館長 | 津取場 重 行 |
| 学校教育課長 | 齋 藤 信 哉 |
| 教育指導課長 | 正部家 光 彦 |
| 社会教育課長 | 船 田 泰 寛 |
| 是川縄文館副館長 | 前 田 美智子 |
| 総合教育センター所長 | 井 上 貫 之 |
| 博物館副館長 | 小笠原 善 範 |
| 北地区給食センター所長 | 中 里 親 弘 |
| 東地区給食センター所長 | 板 橋 稔 |
| 西地区給食センター所長 | 清 川 彦 一 |
| 市史編纂室長 | 藤 田 俊 雄 |
| 教育総務課参事 | 尾 崎 雅 祥 |
| 社会教育課参事 | 田 中 勉 |
| 教育総務課副参事 | 小笠原 光 則 |

(事務局員) 教育総務課主査 佐藤 正樹

武輪委員長	<p>ただいまから、平成26年3月の教育委員会定例会を開会いたします。</p> <p>本日の議事録署名は岡本委員を指定いたします。</p> <p>それでは教育長から、主な会議・行事等について説明をお願いいたします。</p>
伊藤教育長	(資料に基づき説明)
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>(質疑なし)</p>
武輪委員長	<p>無いようですので、これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。はじめに、議案第8号「八戸市立公民館長の委嘱について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
船田社会教育課長	(議案第8号「八戸市立公民館長の委嘱について」に基づき説明)
武輪委員長	<p>ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。</p>
築瀬委員	<p>館長の委嘱については異議はないです。これに関連して、12月の定例会で耐震診断の結果が出て、江陽公民館と館公民館の閉鎖が報告されて、その後ホームページを見たら館公民館のほうは事務所機能を旧館農業協同組合施設に移管したと。ところが、江陽公民館についてはその後何もニュースを聞いていないので、ここにあるように江陽公民館は約2年間の閉鎖ということで、まったく事務所機能を残さないということになるのでしょうか。</p>
船田社会教育課長	<p>館公民館につきましては、だいぶ市内でも外れのほうにありまして、どうしても町内会と地域の役所と連携を取りたいということで地元から強い要望がありましたので、勤務時間については多少減らさせていただきましたけれども、館長と職員はとりあえず皆さんそのまま留任していただくことになっています。</p> <p>江陽公民館につきましては、もともとあそこの地域は小中野地区という広いエリアで、江陽地区が新たに出来上がったわけですがけれども、そういう観点から地域の皆様と相談して、小中野公民館のほうに江陽地区担当の非常勤主事を1名プラスする形で広く小中野・江陽地区を見ていただくということでご了解いただきました。今後新しくできる小中野公民館は、2年間の間、広く小中野・江陽地区を見ていただくということでご了解いただいております。</p>

築瀬委員	そうすると、小中野公民館ができる5月なり6月から、非常勤主事1名の方をということになるんですね。
船田社会教育課長	4月からです。
築瀬委員	これは江陽公民館にいた方ですか。
船田社会教育課長	はい。
築瀬委員	<p>分かりました。それで少しは安心したんですが、この前もちょっと言ったんですが、公民館は社会教育の地域の中核であるということはもう言うまでもないことなんですが、課長さんからいろいろ努力されているということを知って、私からも是非努力していただきたいとお願いしたんですよね。努力なされたということは今聞いて分かったんですけども、ちょっと気になったのは、江陽公民館の館長さんはやむを得ない事情だったとはいえ、いきなりの退職というか、委嘱しないという結果になったということです。通常であれば、期間をもって次の年はちょっとという感じになると思うんですけども、12月に発表、2月1日に閉鎖ですから約1ヶ月しかないということで、ちょっと心配していたのが、1年きりの委嘱期間ということはここにも書いてありますし、主事や館長さんにもそれは社会教育課のほうから1年限りですよと、次の年度を保障しているわけではありませんよと、ちゃんと断っているのも分かっています。その上でお話しするんですが、それにしても急な話だったと思うんですよ。なので、中にはやっぱり生活がかかっているというか、それである一定の許された年限数まで勤務させてもらいたいなと思っている方もいらっしゃるんじゃないかなということで、生活上の深刻な問題が出はしないかと思っていたものですから、今のお話を聞いて1人行っていただけることになったというのでちょっと安心したんですけども、私からの要望は、これからこういうことがあれば、今回はやむを得ないことだということは分かるんです。ただやはり何か支援策というか、そういうのを考えていただくとか、これから根城公民館と是川公民館が年次計画でやられていくと思うんですね。ですから、そういうことも含めて、今回の反省を活かしていただければ有り難いなという要望です。</p>
武輪委員長	他にございますでしょうか。
武輪委員長	それでは、議案第8号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第8号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第9号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館館長の委嘱について」事務局からの説明をお願いいたします。
前田是川縄文館副館長	(議案第9号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館館長の委嘱について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第9号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第9号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第10号「八戸市博物館館長の委嘱について」事務局からの説明をお願いいたします。
小笠原博物館副館長	(議案第10号「八戸市博物館館長の委嘱について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第10号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第10号を原案のとおり決定いたします。

武輪委員長	次に、議案第 11 号「八戸市南郷歴史民俗資料館館長の委嘱について」事務局からの説明をお願いいたします。
小笠原博物館副館長	(議案第 11 号「八戸市南郷歴史民俗資料館館長の委嘱について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第 11 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第 11 号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第 12 号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員の委嘱について」事務局からの説明をお願いいたします。
前田是川縄文館副館長	(議案第 12 号「八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館運営協議会委員の委嘱について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第 12 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第 12 号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第 13 号「八戸市史跡是川石器時代遺跡保存管理計画策定委員会規則の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。
前田是川縄文館	(議案第 13 号「八戸市史跡是川石器時代遺跡保存管理計画策定委員会規則の制

副館長	定について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第 13 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第 13 号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第 14 号「八戸市社会教育指導員に関する規則を廃止する規則の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。
船田社会教育課長	(議案第 14 号「八戸市社会教育指導員に関する規則を廃止する規則の制定について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
大庭委員	社会教育指導員を廃止するという理由を簡単に説明していただきたいと思うのですが。
船田社会教育課長	社会教育指導員という制度は、昭和 47 年に当時の文科省の指導で社会教育の振興のために社会教育指導員を置きましょうということで、当初は文科省のほうから補助金を助成していただいて、全国各地に社会教育指導員という専門職を置くことになっておりました。当市におきましても、当初は 3 名ほどの指導員の方々を委嘱しておりました。この法律は平成 10 年に補助制度を廃止するという一方で、補助制度がなくなったことによって各市町村でもだんだん廃止するようになっておりました。当市においても、補助制度が廃止され、すべて一般財源で予算を運用することになったことから、3 名だったものが 2 名に減りまして、平成 24 年、25 年は 1 名ということでやっておりましたけれども、親育ち・子育て講座とかいろいろな制度も出てきたことから、当市においても社会教育指導員の役目も終わったのかなということで、今現在の指導員の先生がちょうど任期満了となることから、来年度から指導員を廃止することに決めたものでござい

	ます。
大庭委員	はい、分かりました。ありがとうございました。
武輪委員長	他にございませんでしょうか。
武輪委員長	それでは、議案第 14 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第 14 号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第 15 号「八戸市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」事務局からの説明をお願いいたします。
船田社会教育課長	(議案第 15 号「八戸市公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。
	(質疑なし)
武輪委員長	それでは、議案第 15 号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。
	(異議なし)
武輪委員長	ご異議がありませんので、議案第 15 号を原案のとおり決定いたします。
武輪委員長	次に、議案第 16 号「市立学校の統合について」事務局からの説明をお願いいたします。
齋藤学校教育課長	(議案第 16 号「市立学校の統合について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問等がありましたらお願いいたします。

<p>築瀬委員</p>	<p>この議案に関して反対ということではなくて、やむを得ない事情があるということは十分理解しております。これについて感想というか若干の要望を述べさせていただきますんですけども、今回の資料に示されているように、信頼関係を築きながら、この 39 回の中身を見ると非常に緻密に、保護者別とか職員別とか、単独で 2 校で 3 校でそして全体でというステップを踏んでいるので、本当にきめ細かな配慮をされたんだなと思って敬意を表したいと思います。これは一つ感想です。</p> <p>それからもう一つ、ただやはり統合という結論については地域の方の苦渋の決断だと、どこでもそうだと思うんですが喜んでということではないと思うんですね。ですから、先ほど課長さんからあったように、要望事項という文書が添付されていますが、こういうことを最大限配慮していきたいという言葉がありましたので、最大限配慮していただきたいというのが要望です。</p> <p>そして付け加えれば、この要望事項の中に具体的にはないので統合に近づけば出てくると思うのですが、私の要望としては現在 3 校に設置されている特別支援学級の存続について、やはり最大限の配慮をしていただきたいと思います。ここにはないことで細かいことなんですけど、当然それについては統合時の児童の状況、いるかどうかということによるということとは分かりますけれども、やはりこの 3 校が一緒になったときに、その特別支援学級、今で言えば知的、情緒と 2 種類が 3 校にはあるんですけども、そういったことについて、是非加配等も含めた支援策をお願いしたい。そのときの状況によると思いますが、私の要望としては、そういった特別支援学級についての配慮を是非お願いしたいなと思っていますので、よろしくをお願いします。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>今築瀬委員さんからお話がありましたけれども、それぞれの地域からいただいた要望の中で是非これは必ずやってほしいといったものが、子どもたちの通学支援でありました。中野あるいは鳩田から通ってくる子どもへの通学支援です。</p> <p>さらには、新しくスタートする南郷小学校、現市野沢小学校の校舎なんですけど、市内の学校に比べると新しいとはいえ、だいぶ年数も経っておりますので、その校内外の教育環境の改善というところもお話をいただいております。</p> <p>実は要望書とは別に、さらに細かい改善の希望をするという順番を付けたものもいただいております。これを教育長に直接提出していただいて、教育長からも可能な限り対応していきますというお話もいただきましたので、これは築瀬委員さんからもありましたとおり、可能な限り実現に向けて努力をしていきたいと考えております。</p> <p>それから統合後の平成 28 年 4 月 1 日の児童数なんですけれども、現在は 3 校合わせると 154 名の児童数になっております。これが統合時には、144 名の児童数になる見込みでございました。プラス特別支援学級ということで、そのところ</p>

	<p>が6学級ではなくて7学級になるのか、情緒も入れれば8学級になるのかについては、今後具体的に話し合いを進めていきたいと考えております。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>他にございませんでしょうか。</p>
<p>大庭委員</p>	<p>私もこの統廃合に関しては、39回に渡る丁寧な会合があって、3校統合の合意形成に至ったと思いますので、そういう意味では大変ご苦労さんであったなと思います。高校の統廃合を経験しましたが、統廃合というのは非常にいろんな問題を含んでおります。3校の統合まで非常に丁寧に進めていただいて、合意形成に至ったということは有り難いと思います。</p> <p>今後、確約書の要望等を踏まえて、また丁寧に対応していただくということになるかと思いますが、その中で特に私自身が気になっていますのは、一つは児童生徒にとって母校がなくなるというのは、大人が思っている以上に精神的にショックがあるかと思います。仮に高校で考えれば、自分の出身高校がなくなると、非常に大きな問題として子どもたちが捉えていたような気がします。そういう意味で、その他の(4)にある「統合に伴う児童の精神的な不安をケアする体制」この辺にやはり今後気を配っていただければと思います。</p> <p>それからもう一つは、それぞれの学校の持っているこれまでの遺産といいますが、いろんな伝統、あるいは行事、それから子どもたちが作り上げてきたもの、これらのものを統合されてからも是非大事に管理していただきたいといいますが、保存していただきたいと思います。一旦統合してしまいますと、統合された学校のもがどこにいつているのか、あるいは所在が分からなくなるとか、そうなればそれぞれの学校で育った子どもたちがやっぱり寂しい思いをするかと思しますので、簡単に言えば遺産の管理といいますが、統合したらどこかの校舎にまとめて置くとか、そういう場所を設置するとか、細かいことですが、そういう形で対応していただければと思います。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>私も感想ですけれども、3つの学校の統合ということで大変大きなことであつたというふうに、今までとはちょっと違うということで、それをずっと委員として見てきておりましたけれども、やはりここには教育委員会が果たす役割ということが大変丁寧に出ているのかなと思います。教育委員会というものがどういものであるかということが、なかなか分かりづらいんですけども、果たす役割が明確にきちんとできていたなということを思います。個人的には本当にどういうやり方がいいのかということが分かりませんでしたけれども、この進め方を一緒に見ながら、ただ数字を並べるのではなく、大変緻密な資料がたくさん出て</p>

	<p>おりましたし、それを拝見するだけでも毎回膨大だなということは感じておりましたけれども、そこに至るまでの緻密さは本当にどの委員も感じていることだとは思いますが、そこに役割をしっかりと果たしているなということを感じております。</p> <p>報道につきましても、やはり市民の皆様に分かるような結果として載せていただいたりすることも、委員会にとっても有り難いことだと思っていますので、そういう写真ですとか、内容ですとか、そういうことが市民の皆様にもよくご理解いただけているのかなというふうに思っております。</p>
武輪委員長	<p>私からも、この2年半、本当に皆様のお力でここまでこれたんだろうなと思っております。感謝申し上げます。そして、28年4月の開校へ向けての2年間、この検討事項、そして要望への対応を十分に練っていただいて、より良い形で進めていっていただきたいと思います。来年度は、こちらの3校とも私も学校訪問をさせていただきたいなと思っております。</p>
武輪委員長	<p>それでは、議案第16号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
武輪委員長	<p>ご異議がありませんので、議案第16号を原案のとおり決定いたします。</p>
武輪委員長	<p>以上で議案の審議は終わりました。</p> <p>次に報告事項に入ります。</p> <p>はじめに、「平成26年3月八戸市議会定例会一般質問事項について」は、事前に資料が配付されておりますので、委員の皆さんからご質問がありましたらお願いいたします。</p>
築瀬委員	<p>資料の8ページの夏坂議員さんからの防災教育についてということで、教育長の答弁があるんですが、ここに示されている概要を見ると、防災教育支援事業とか、新しく作る防災教育の副読本については触れているんですが、昨年9月の教育委員会定例会で制定要項が出された八戸市防災教育の日については、この答弁では触れられていなかったもので、この時点ではまだ3月11日がきていないので実施されていなかったわけなんですけど、どういう意図があったのかなと思って見ていました。ちょっとお聞きしたいのが、今の11日に初めての八戸市防災教育の日が各校で実施されたと思われませんが、全体的な傾向とか特徴的な取組があったか、現時点で把握していることでもいいのでお知らせいただきたいのと、何か考えていることがあったらお聞かせいただきたいと思います。</p>

<p>正部家教育指導課長</p>	<p>3月11日当日に限りませんが、その周辺のあたりでどんなことが行われたかということにつきましてお話をいたします。</p> <p>全校朝会、学年朝会等で児童生徒に対する講話を行ったのが、小学校44校、中学校21校。それから、命の大切さや防災に関する内容を取り入れた授業を行ったのが、小学校9校、中学校4校。それから、安全マップを活用した児童生徒の話し合いを行ったのが、小学校2校、中学校1校。これが主に安全指導ということでございます。</p> <p>それから体験活動といたしましては、避難訓練あるいは引渡し訓練、新聞紙上でも多賀台地区では防災組織とともにということがありましたけれども、それから避難所の開設、模擬訓練、これが今申し上げた多賀台でございます。それから先ほどの避難訓練、引渡し訓練は小学校8校、中学校5校。それから、炊き出しであるとか、非常食の試食ということも小学校22校、中学校6校。そして、最後になりますけれども、発電機等の防災備品の点検といったものが多くの小学校、中学校。それから校内外の安全点検であるとか、避難経路の確認というようなことで、様々な各学校あるいは地域によって進められているということです。</p> <p>あるいは、その時間に合わせての黙祷、あるいは半旗を掲げる、それからどういった対応をするかというプリントを配付するなど、様々なことが行われたということで集計しております。</p>
<p>齋藤学校教育課長</p>	<p>一つ加えて、防災教育の日の制定については、学校教育課のほうで提案申し上げて、窓口を指導課の方に動かしたということで今正部家課長のほうからお話いただきましたけれども、先般、築瀬委員さんから地域を巻き込んでというお話がありました。これについての大変特色ある取組では、多賀台地区が地域と学校と一体になった防災訓練を実施したという報告を受けています。これはテレビでも紹介されたと思います。そういった取組もありましたし、保護者と一緒になって引渡し訓練とか避難経路を確認した学校もあったということも聞いておりました。</p> <p>また、学校教育課で進めている非常食の試食というのも、この3月11日に実施したセンターもあります。また、その前後の部分でやった学校もあります。これについては、それぞれの学校で様々な工夫されていて、給食便りでもってその防災教育の日の制定について子どもたちに再度確認したり、万が一こういうときがあったときには、こういう非常食も食べなければならないんだよということも、給食便り等で紹介したりといった取組もあって、なかなか学校でも工夫されているなというところを感じました。ただやはり、地域を巻き込んでといった部分は今後の課題ではないかなと思っています。</p>

ありがとうございました。今お話があったのを聞いていると、各学校でもやはり、単なる震災に備えるということだけではなくて、市教委の重点でもある「いのちの教育」としての観点からの取組が大変浸透しているなど感じまして、そういう取組をしてくださっていることが、とても心強いというふうに感じて聞いておりました。やはり大事なのは、継続が大事だと思うんですね。制定の提出の際にも無理なくというふうなことがあったのは、そういう意味もあると思うんです。一回打ち上げ花火を打ち上げて終わりではなくて、やはりこれをきちっと継続していくということが大事で、その継続の中でどこかで地域と結び付いていくとか、そういったところを模索していくということも大切だと思いつつながら、本当によく取り組んでいただいたなという感想を持っています。たぶんこれから来年度に向けて様々な周知をすると思うんですが、やはりこういった工夫したところとか、まさか給食便りというのも私はよく工夫したなと思って聞いていたんですが、そういうこともうちの学校でもできるなとか、そういったこともあるかと思うので、是非そういったことを各学校にお知らせいただきたいなと思っていますので、よろしくお願いします。

もう一つは、9月の定例会でもお話ししたんですが、教科等研究委員の防災教育に係る研究分野の発表が今年度あったわけですね。私も聞いていましたけれども。そういった研究委員の研究成果といったものを、その学校の中の授業だけで終わらせるのではなくて、そこから広がる研究であって欲しいなと思いつつ聞いていたんです。ですから、そういった研究委員の成果を活かしていくとか、内地留学の成果を活かしていくとか、そういったことも来年度取り組むにあたっては、配慮していただければ有り難いと思います。ありがとうございました。

あと一つあるんですが、21ページの高山議員の本のまち八戸の中で、学校図書館ということを取り上げていらっしゃいました。この学校図書館についてちょっと触れたいんですけども、この教育長の答弁の2つ目のところに、いわゆる地域密着型教育ということを出しています。これはやはり非常に大事なことだと思います。やはりどこの地域密着型教育の組織を見ても、図書館の環境整備とか、読書活動の推進とかが大体あるんですね。それからボランティアの活動の推進とあるんですが、なかなかこのボランティア活動の推進というのは地道に取り組まないと一気に進まないところだと思うので、是非ここは力を入れて頑張りたいですし、9月にも総合教育センターから学校図書館ネットワーク事業の中で学校図書館ボランティアを推進するというような方向性が確か出されたと思っていました。ですから、そういった点も含めて、このボランティアの育成ということについて、取り組んでいただければ有り難いなと思っています。それで大事なのは、私は小学校出身なので市内の小学校を見ても、学校図書館の環境づくりとか、読書活動の推進に非常に特色ある図書館づくりをやっているところがあるんですね。ですから、そういったところを具体的に紹介して、環

境づくりにこうしたアイデアがありますよとか、これは答弁の中にもあるんですが、学校図書館関係者は学校図書館協議会というところでそういう情報交換をしているわけなんですけれども、やはりそういう広がりという面ではこれからかなというふうに考えていますので、例えば議員さんがこう質問されたら、こういう学校でちょっと工夫しているので行ってみましょうかとかですね。あるいは、我々教育委員でも特色あるところをちょっと見学させてもらうとか、そういったことをしながら広めていくということも大事かなと思って、この答弁と質問を見ていました。

それから、答弁の最後のところに様々な取組を行っているとおあるんですが、昨年の11月には八戸市を会場にして学校図書館の東北大会が行われているんですね。その中で、八戸市の学校図書館の活動は高い評価を得ているんです。大袈裟に聞こえるかもしれませんが、本当に高い評価を得ているんですね。それから、これも事務局の努力で、平成13年度から学校図書館の資源共有型のモデル事業が始まりましたよね。ちょうど私そのときに指定された学校の校長だったものですからよく分かっているんですが、そういったモデル事業とか、これが終わった後市単独で今の学校図書館ネットワーク事業が21年度から始まっているわけですね。そういったことの中で、客観的に見ても八戸市は非常に先進的なんです。東北地方の中でもその取組が非常に高い評価を得ている。その評価は何かというと、目立ったものではないんですよ。地道な取組が評価を受けているんですね。ですから、そういったところも含めて、やはりこの答弁の中にもあるのですが、学校図書館担当者の研修会だけではなくて、そういったことを市民とか保護者とか地域にお知らせしながら、地域密着教育の中で進めるとか、そういった手立ても是非工夫していただきたいと思いますとお話ししました。

正部家教育指導課長

具体的な数字で申し上げますと、ただいまのところ図書ボランティアは、平成25年度は小学校31校で66%。それから中学校は13校、52%で図書ボランティアが導入されております。地域密着型教育ということでのボランティアもございまして、ますますボランティアは増えるのではないかとということ。

それから、学校図書館の環境づくりということで申し上げますと、図書ボランティアと連携して、季節感を図書館の中に設けている例であるとか、行事に合わせてそういうふうな装飾あるいは企画展を行っている。あるいは、図書の担当の先生方と一緒に推薦図書のコーナーであるとか、様々な読み聞かせであるとか、ブックトークであるとか、アニメーションですとか、様々そういう言葉がありますが、各学校では行っておりますので、いろいろ紹介してさらに充実を図るということを考えていきたいと思っております。

築瀬委員

はい、ありがとうございます。

武輪委員長	他にございませんでしょうか。
大庭委員	<p>11 ページになりますけれども、大学入試センター試験についての関連で、国語の結果を受けて伺いたいとありますけれども、センター試験もこれから変わっていくと思います。今までのように1点刻みではなくて、段階的に本人に知らせてそれを自分でどう判断していくかというふうに変っていくかと思いますが、教育長の答弁の中にもありますが、やはり国語はすべての教科のベースになる科目だと私自身も思います。したがって、確かに年々国語の平均点が下がっていますけれども、これは一概に言えないことだと思うんですね。評論の中身の問題、小説の変な設問の問題もありますので、そういうふうなことも含めれば一概に点数だけで学力が落ちてきたという捉え方はできないと思っています。そういう意味でも、国語というのが果たしてセンター試験に合う試験形態なのかということにも疑問を持っていますので、そういう意味では国語の平均点が下がっているということは、あまり問題にしなくてもいいのではないかなと思います。ただ、あくまでも基本になる科目であるという認識を持って、国語の指導にあたっていかなければならないと思います。</p> <p>その中で一つ、私自身が思っていることなんですが、年々文脈の中で言葉を選択していく、あるいは文脈の中で正確な熟語を作っていく、この力が落ちてきているなというのは実感として持っています。要は、単語で音が合っていればいいと、文脈は関係ないと、音だけが合えばいいんだという感じで熟語を作ってしまうという傾向が年々強くなっているような気がします。それは言い方を変えれば、やはり思考力の問題にもなっていくと思うんですね。文脈の中でどういう言葉、どういう表現、どういう熟語を作っていくのか、その力が年々落ちているような気がしております。ですから、小・中の教育においても漢字をただ使えばいいんじゃないんだと、音が合っていればいいんじゃないかと、いかにその言葉の意味を大事にしながら、あるいは漢字であれば漢字自体の意味を大事にしながら熟語を作っていくのか、こういうふうな指導をしていかないとなかなか今の傾向には歯止めが掛からないのかなと思います。これはおそらく携帯でも単語だけで、あるいは本来漢字で熟語できちんと伝えられればいいところが片仮名で伝えてしまったりとか、社会的な背景もあるかと思いますが。その中で国語を大事にしていくためには、そういう文脈の中で言葉をきちっと捉えていく、そういうふうなことが今の小学校・中学校の生徒にも必要になっているのではないかなという気がします。</p>
正部家教育指導課長	今のことにつきまして簡単にお話を申し上げますが、田中議員のこの質問の意図は、(2)の基礎学力の定着についてという方を主に聞いたかったということ

	<p>ございました。この答弁内容にもございますが、例えば来年度はブッククーポンを配付して一つのきっかけとして読書活動を推進して参りますけれども、文脈の中で熟語を作るというお話がございましたが、そういう幅広い意味での基礎学力は八戸でどう考えているんだということに対しての答弁ということでお考えいただければと思います。</p>
大庭委員	<p>別に大学入試センターに絞ったものではなくてということですね。了解しました。そういう意味では、今これから市として行うブックスタート、ブッククーポン、私はやはりこれが、実際に文脈の中で言葉というのがどういう使われ方をしていくのかということ子どもたちが認識する上でも必要な事業かなというふうに考えております。</p>
武輪委員長	<p>他にございませんでしょうか。</p>
武輪委員長	<p>私も今回のこの質問事項を見させていただいて、今お二人の委員さんがお話された部分と実は全く同じようなところをお聞きしたいなという部分がありましたので省略させていただきますが、一点だけお話しさせていただきます。</p> <p>防災教育の日に合わせて、今回の給食の中で非常食の「ホッとするカレー」という献立がございました。今回の献立表の中にも、そのことについての説明欄があって詳しく載っていましたが、実際に食べた子どもたちに感想を聞きました。「カレーの味は大変良かった、美味しかった」という答えが返ってきました。「味は良かった」という表現で、毎日毎日大変美味しい温かい給食を食べておりますので、結局その後「このカレーが温かかったらもっと良かったのにな」という答えが返ってきましたので、やはりいつも幸せな環境にいるということを感じながらも、いざというときは食べられるだけで幸せであるということも、これから子どもたちにも感じてほしいなと思います。</p> <p>もう一つ、自分の命は自分で守るということを掘り下げて掘り下げて、これから子どもたちにもっと指導していきたいなと思っております。</p>
齋藤学校教育課長	<p>今回初めて「ホッとするカレー」をやってみて、今委員長さんからお話があったように、実は3月のこの時期というのは卒業式の練習をやっているんです。子どもたちは寒い中体育館に行くと、給食を食べに帰ってくると温かいものをとイメージしていたんだけど、「ホッとするカレー」はご存知のとおり、温めなくても食べられるカレーということで、やはりちょっと冷たかったかなと。そして当日の献立のメニューがサラダだったんですよ。冷たいカレーにサラダということで、さらに寒かったのかなというようなことも聞いていました。そしてもう一つ感じたのは、「ホッとするカレー」のパッケージがありますよね。あれを切</p>

	<p>ってご飯にかけるんですけども、今の子どもたちは搾り出して掛けられないということが新たに分かりました。中には上手くクルクルっと巻いて搾り出す子もいるし、中にはぐちゃっとやって上手く掛けられないと。これも本当に課題なのかなというところもありました。</p>
武輪委員長	<p>はい、ありがとうございました。</p>
武輪委員長	<p>それでは、報告事項の(2)に移りたいと思います。「平成 26 年度当初予算について」事務局からの説明をお願いいたします。</p>
澤田次長兼 教育総務課長	<p>(資料「平成 26 年度当初予算について」に基づき説明)</p>
武輪委員長	<p>ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。</p>
築瀬委員	<p>教育指導課の(3)の、いつも私が定例会の場で話してきていることに関連して、まとめとしてお話ししますけれども、ちょっと事業名が変わったみたいですが、特別支援アシスト事業費の欄です。この事業内容の中に、専門指導員が現在は 3 名だったと思うのですが、特別支援アシスタントも含めて 75 名分の予算が付いたというふうに受け止めているんですが、人数的な振り分けとか準備状況なんかをお知らせいただきたいと思います。</p>
正部家教育指導課長	<p>これは専門指導員とアシスタントを合わせた数ではなくて、専門指導員はそこに数は書いていませんが 5 名でございます。それから特別支援アシスタントが 75 名ということで、今、3 月議会が終わりましたので、アシスタントの方には採用・不採用ということで連絡を申し上げまして、4 月 2 日に研修会を持つということになっています。学校の数とアシスタントの数がほぼ同数ということですが、希望しない学校もあります。それから、複数配置をしなければならない学校もございますので、そういうふうなところもございますけれども、おかげ様で一般財源でこのように確保できたということをご報告申し上げます。</p>
築瀬委員	<p>ありがとうございました。とても嬉しく思います。私は合わせて 75 名かと思っていたので、考えた以上にとか、増員できたということで理解していいですか。</p>
正部家教育指導課長	<p>75 名の内訳は、後期に 5 名分ということもありますけれども、75 名ということでの人数でございます。</p>

<p>築瀬委員</p>	<p>専門指導員の方も増えたということですよ。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>はい。こちらは3名から5名でございます。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>定例会の度に、ここの活用が非常に有効にされている、学校訪問に同行させていただいても非常に有効に働いているので、是非拡大をお願いしたいということで話してきて、担当者の方とか事務局で努力しているという様子を聞いていましたので、その皆さんの努力が報われて、またその努力が報われたということがどうということになるかという、学校が助かる、子どもが生きる、先生方も助かるということで、事務局の努力が学校を助けるという本来の姿であるなと思って、とても嬉しくこの数値を見ていました。大変ありがとうございました。</p> <p>あと一つお礼というか、今年度最後の定例会ですので、直接この教育委員会の予算ではないんですが、市長の方でこの前発表したように、総合保健センターの中に子どもセンター的なものを含めて、特別支援と心の相談の一本化をする構想が、見通しとして明るくなってきたなというのを聞いて、大変感謝申し上げたいと思っていますので、更なる充実のために頑張っていただければ有り難いなと思っていました。ありがとうございます。</p> <p>あと一つ、これは社会教育課のところで、これは載っていないんですがちょっとお聞きしたいのが、地域密着型教育推進事業と両輪で行われてきた学校支援地域本部事業については、国の補助は20年度から続いていたんですが、来年度はどうなるのでしょうか。</p>
<p>船田社会教育課長</p>	<p>来年度で県補助が終わって、27年度から教育指導課の地域密着型に全面移行という形で進めております。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>分かりました。そうすると26年度は現状の配置ですか。</p>
<p>船田社会教育課長</p>	<p>はい。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>分かりました。とてもそれも安心しました。非常に有効に働いているという意識があるものですから、ありがとうございます。27年度からの取組はなかなか大変になるかと思うのですが、頑張ってくださいと思います。</p> <p>それから関連して、総合教育センターのこれもずっと話を続けてきた学校教育サポート費についてです。新規で認められたということで、内容的には小学校理科支援員ということで、これもずっと学校訪問に同行させていただいての感想とか、直接支援員さんからの話を聞いたり、先生方の話を聞いたりしている中で、</p>

<p>井上総合教育センター 一所长</p>	<p>非常に有効だということで所長さんにも是非頑張っていたきたいということでお願いをしていたんですが、これは付いたということで大変ご苦労様だったし、嬉しいなと思っていますが、この理科支援員の人数がどうなったのかと、あと今考えていることがあったらお聞かせいただければと思います。</p> <p>理科支援員につきましては、国の国庫補助を使ってということで、県の方から早い段階で国の予算が決まったということで下りて参りました。ただ、4月1日から使えるということではなくて、今もう申請は出しましたけれども、その申請が国をってから使えるということで、5月1日からという形になっております。そして3月までというような形になります。</p> <p>ただ今年度、理科支援員3名で実施して、その非常に重要な記録が1年かけて残っております。各学校に行ってどのような支援をしたのか、実験の準備をしたのかというようなことです。</p> <p>目に見えた成果としては、小学校の先生方の場合は理科だけではなくて、一般の授業も普通に行っていますので、準備をして実験に臨んでその後片付けをしてというのが本当に日常の中で精一杯だったところで、ずっと溜まってきた準備室を綺麗にするといったところになかなか手が回らなかった。そういったところで、準備室を綺麗するというのが本当に目に見える部分もございます。</p> <p>それ以上に、私は八戸の地域に合った教材、例えば教科書にはメダカの尾ひれの血管を観察するということが載っておりますけれども、その時期ちょうど八戸はオタマジャクシがたくさんいて、オタマジャクシの尻尾の血管を観察すると、子どもたちが手で掴んでもオタマジャクシは丈夫なんです。でも、メダカはそんなことをすると死んでしまうというようなことで、そういう地域に根差した教材があったり、また、カブトムシの幼虫を、支援員の方に得意な方がいたので、行った学校で子どもたち1人に1匹の幼虫を渡して飼ったときに、幼虫がさなぎになるために深さが必要なのに、その深さが足りなかったためにさなぎになれないで死んでしまったというようなことを、子どもたちが命の大切さをそういうことを通じながら感じる事ができた実践とか、そういう記録をこの1年間残せたことが非常に大きかったなと思います。</p> <p>そして、それらの記録を基にしながら、来年度は国の補助金が入って若干の制限はございますけれども、それ以上に八戸市として実践していける部分を残していければなと思います。補助金等の関係もあって、センターに勤務している分は補助にならないということですので、フルに活用するためにベーススクール等を考えながら、ベーススクールからの派遣。そして、会議は補助になるということですので、センターに来てその成果をお互いに共有する会議。さらには、今回3月にデータベース等の更新を行いましたので、データベースの中にそういった実践事例を載せて、それを市内の先生方に共有する。そしてさらに、この県南地域</p>
---------------------------	---

	<p>でそれらの情報を共有して、八戸だけではなくて県南全体が同じような地域の中に生活しておりますので、そういうものを共有してこの青森県の県南部分の理科の底辺を拡大していければいいかなということ、今現在、来年度に向けて準備しているところです。</p> <p>財政の方からは、今年度頑張ってくださいの方に、4月については市単独の国の補助がない部分を使って、4月からやっていいという許可もいただいておりますので、今年度の理科支援員の方については継続して4月も行って、新しく採用になる方は5月1日からということで来年度取り組む計画になっております。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>ありがとうございます。そうすると、人数は通して見ると3名でやるということですか。</p>
<p>井上総合教育センター 一所長</p>	<p>はい、3名です。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>はい、分かりました。先ほどもお話ししたんですが、子どもたちの理科に対する興味関心とか、さっきもあつたんですが国語だけではなくて基礎学力といった面と、あとは先生方の指導力の向上、それから負担軽減、そういった意味で非常に有り難いなと思っています。事務局の努力に対しまして、感謝申し上げたいなと思います。ありがとうございます。</p>
<p>井上総合教育センター 一所長</p>	<p>今の学力の問題で、今回理科支援員の方々が戻ってきてセンターで話しているところを聞いて、先生方がペーパーテストとかそういうので子どもたちが丸がつくような指導をしてきているんですが、なぜそうなるのかとか、どこに疑問があるのかというのを子どもたちに見つけさせる指導、考えさせる指導、そういったものを理科支援員の方々が、実験等の準備だけではなくて、行って来たというそういう記録が残ったというのも一つの財産だったなと思っています。</p>
<p>築瀬委員</p>	<p>はい、とてもいいなと思います。ありがとうございます。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>他にございませんでしょうか。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>私から一つだけ、教育総務課の(4)の三条中学校用地購入費というものがありますが、これに関して説明をお願いいたします。</p>
<p>澤田次長兼 教育総務課長</p>	<p>三条中学校は内容のところに記載してございます。駅西區画整理事業の中にあつまして、当初は區画整理の前は校庭が狭かつたりしてつていました。それで區画整</p>

	<p>理の事業が決定する際に、通常であれば普通の家だと減歩とって何パーセントか少しづついただいて、道路をつくって公園をつくって整備をするものなんですけれども、その際に校庭が狭いというふうなことで、その減歩はしなくて、少し保留地が欲しいというふうな形で計画をしていただいて、それで校庭とテニスコート、この辺を簡単に言いますと買い求めるといいますか、減歩しない分、こちらからお金を支払ってやるというふうなことでこの金額となっております。あとはその地域から部活のものを動かしたり、バックネットをちょっとずらしたりする補償費も入っています。そういうような形で正規の八戸市の学校用地としていくための購入費でございます。</p>
武輪委員長	はい、ありがとうございました。
武輪委員長	それでは(3)に移りたいと思います。「国宝の貸出し予定について」事務局からの説明をお願いいたします。
前田是川縄文館副館長	(資料「国宝の貸出し予定について」に基づき説明)
武輪委員長	ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。
大庭委員	私はこの江戸東京博物館、それから国立博物館への貸出しは、知っていただくと、特に江戸東京博物館のほうはけっこう外国の方も入ってきているんですよ。国立博物館になるとなかなか外国の人には堅苦しくて、難しいのかもしれませんが、江戸東京博物館だとけっこう外国の方も入ってくると、そういうふうなところで見てもらえるというのはいいなと思って、この貸出し予定について見ておりました。これについては、向こう側から貸し出して欲しいという依頼があって、それともこちらからの売り込みもあってということですか。
前田是川縄文館副館長	この2件に関しては文化庁のほうから貸出しして欲しいということで、向こうのほうから依頼があったものです。
大庭委員	是非、江戸東京博物館あたりでは日本の方だけではなくて世界の方にも見て欲しいなという思いがあります。
武輪委員長	不在期間の対応ということで、「またきてね券」ということで、とても面白い試みだなと思いますが、これは今回初めて貸出しが長期に渡るということで初めて行うものでしょうか。

<p>前田是川縄文館 副館長</p>	<p>前回、平成 24 年に滋賀県のみほミュージアムに貸出しをしたんですが、そのときは約 40 日間ということで、レプリカの展示だけをしておりました。今回は約半年間と長期に渡りますので、やはり来ていただいた方には、また実際に実物を見にきていただきたいということで、今回初めて「またきてね券」というものを出すことにいたしました。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>面白い案だなと思いますので、「またきてね券」を利用して再度来た方がどれぐらいいるかということもまたお聞きしたいなと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>その他、事務局から報告事項はございますでしょうか。</p>
<p>正部家教育指導課長</p>	<p>確認ということで申し上げます。全国学力テストの結果公表について、県教委の回答内容でございます。このアンケートの締切りは3月14日でございます。問いが2つありまして、来年度、貴教育委員会は貴管下の各学校の結果公表をしますかという問いに対しては結果公表をしない、それから来年度、県教育委員会が貴市町村の結果公表をすることについて、貴教育委員会は同意しますかということに対しては同意しないというふうに回答いたしましたので、ご報告申し上げます。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>はい、ありがとうございます。 他にございませんでしょうか。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>事務局からは以上なのですが、最後に委員の皆様方から何かございますでしょうか。</p>
<p>武輪委員長</p>	<p>それではこれを持ちまして、平成26年3月の教育委員会定例会を終了したいと思います。平成25年度としては今日が最後となります。皆様どうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">(午後 3 時 03 分終了)</p>